

完全対訳 トランプ・

ヒラリー・クルーズ・

サンダース演説集

何が勝負を決したのか？

西森マリー = 著・訳

アメリカ史上、最高にエキサイティングな

大統領選

民衆の心を掴んだ4人の演説を完全対訳で収録!



「アメリカの今を知るもよし。世界の未来を見るもよし。

英語の勉強をするもよし。演説大国から、おトクな一冊がやってきた！」

評論家・「シノドス」編集長

萩上チキ

完全対訳

トランプ・ヒラリー・クルーズ・サンダース演説集
何が勝負を決したのか？

西森マリー

星海社

88



SEIKAISHA
SHINSHO

演説は、古代ギリシアから継承された民主主義の根底を支える礎です。

共和制だった時代の古代ローマでも貴族の師弟や立身出世という大志を抱く人々は、哲学や文学のみならず必ず演説を学んでいました。

ローマの名門貴族の家に生まれたカエサルは、青年時代に、ロドスで演説を教えていたギリシアの演説の達人、モロンに演説を学びました。つまり、カエサルは、ギリシアに演説留学をしたわけです。

カエサルの暗殺を支持したキケロは、名門の出身ではなかったものの、カエサル同様、モロンの下で演説を学び、ローマで最高の名演説家と言われるようになったことで元老院で権力を得ることができました。

古代ローマの元老院で指導者になれるかどうかのカギだった演説は、アメリカの政治でも政治生命の明暗を分ける尺度の1つです。アメリカ大統領選は、予備選も本選も、州ごとに有権者が自分が支持する候補に投票してくれる代議員・選挙人を選ぶ、という間接的な選挙です。

しかし、候補者は代議員・選挙人を獲得するために、有権者に直接アピールしなくてはなりません。

ですから、候補者は多くの州（特に早期に予備選が行われる州）に自ら出向いて集会を開き、有権者の目の前で選挙演説を行います。

タウンホール・ミーティングという形態の集会は、候補者

がキャンペーン演説をした後に有権者と質疑応答を行うので、古代ギリシアの民主制とよく比較されています。

通常、選挙キャンペーンの集会は参加者数千人規模というものですが、とくにトランプの集会はどれも数万人規模というロック・コンサート並の巨大なスケールだったので、どの州の集也会も大きな話題になりました。

アメリカ大統領選を筆頭にあらゆる選挙で候補者が演説で有権者の心を掴むためには、下記の2項のうちのどちらか1項が必要です。

A 演説の内容（政策）が支持者にウケる

B 内容が希薄でも演説がうまい

近代の大統領選では、アル・ゴア（2000年の民主党候補）とジョン・ケリー（2004年の民主党候補）、ジョン・マケイン（2008年の共和党候補）は**A**の部類に属しました。

レーガン、ブッシュ、オバマは**B**で、ビル・クリントンは政策も支持者にウケるしっかりしたもので、しかも演説もうまい、という天才的な政治家でした。

今回の選挙では、ヒラリーとサンダースは**A**、トランプは**B**で、クルーズはビル・クリントン同様、演説もうまく内容も充実していました。

ヒラリーは、働く人々やマイノリティを助けるための建設的な政策を打ち出しているため、内容は100点満点です。

しかし、がんばりすぎているせいか、どことなく硬い感じがして人間味に欠け、演説も「事務的」と言われています。

しかも、南部に行くと南部訛りで演説し、黒人の教会では黒人の牧師のようなしゃべり方をするので、サンダース支持者たちからは「ウケ狙いが見え見えで、さもしい」と忌み嫌われています。

一方、サンダースは、公立大学の学費をただに！ などの

社会主義的メッセージが若者に大ウケして、大学生や左派の人々という熱狂的な固定ファンがついています。

しかし、ヒラリーのメッセージがポジティブであるのに対し、サンダースは1%の金持ちや大企業、ウォール・ストリートに対する敵意を煽りすぎているため、中道派からは敬遠されています。

彼は、演説のみならず普通の会話の話し方もごちないのですが、そのごちなさサンダースならではの「持ち味」になりました。コメディ番組などでさんざんモノマネのネタになって、かえって得をした、という感じですね。

トランプは、演説の内容は希薄ではありますが、テレプロンプターを使わずに熱意を込め自分の言葉で本音で語りかけているため、彼の演説を聴いたあとは、「メキシコとの国境に壁を建ててアメリカを再び偉大にする」と信じることができます。不法移民対策と経済政策が充実している、と覚えてしまうのです。

また、トランプは頻繁に本筋から逸れて思いつくままに時事ネタを入れて観衆を盛り上げる、という生まれながらのエンターテイナーでもあります。

クルーズの政策は、保守派の人々にとって理想の政策です。

彼は、ディベートと演説の達人で、一定のリズムを保ちながら観衆に語りかける彼の演説スタイルは伝道師のようです。福音派クリスチャンからはまるで救世主のごとく崇められています。

Imagine（想像してみてください）という一言を繰り返すことによって、今のアメリカとは異なる「フリーダムを謳歌するアメリカ」を強調し、保守派の人々に大ウケしています。

この本では、アメリカ人の心を掴んだ4人の候補者であるドナルド・トランプ、ヒラリー・クリントン、テッド・クルーズ、バーニー・サンダースの出馬表明演説をオリジナルの英文と対訳、という形でご紹介しています。

どの候補者も、出馬表明演説で提示した政策をそのあとの

ほとんどの遊説で繰り返しているの、これさえ読んでおけば彼らの選挙演説の概要が掴めます。

4人の演説を比較すると、民主党支持派と共和党支持派の越えがたい溝が浮き彫りになり、2つのアメリカが何を望んでいるのかがよく分かります。日本にとって最重要な外国であるアメリカの「今」をより深く把握することができるでしょう。

また、オリジナルの英文を読んでそれぞれの候補者が使っている語彙やフレーズの構成などに目をやると、日本語に訳しきれない微妙なニュアンスの違いも正確に理解することができるでしょう。語彙やフレーズの解説は、それぞれの演説の章末に収録しています。

紙面では、候補者たちの演説のスタイルは伝わりませんが、どんな言葉やフレーズが支持者たちの心を掴んだのかは分かっていただけのはずで。

今回の大統領選はトランプ出馬のおかげで、ベテラン政治評論家たちにとっても全く予想不可能な展開になりました。

アメリカ大統領選史上、最高にエキサイティングな2016年の大統領選予備選で支持者たちの心を掴んだ4人の出馬表明演説を、オリジナルの英文と対訳で是非お楽しみになってください！

目 次

はじめに 3

大統領選のしくみ 10

第 1 候補者

トランプ Donald John Trump 18

略歴 20

トランプ出馬表明演説 22

語彙解説 70

トランプ発言録 76

COLUMN 1 キャンペーン・ソング 84

第 2 候補者

ヒラリー Hillary Diane Rodham Clinton 90

略歴 92

ヒラリー出馬表明演説 94

語彙解説 132

ヒラリー発言録 140

COLUMN 2 ネガティブキャンペーン 148

第 3 候補者

クルーズ Rafael Edward "Ted" Cruz 154

略歴 156

クルーズ出馬表明演説 158

語彙解説 176

クルーズ発言録 180

第 4 候補者

サンダース Bernard "Bernie" Sanders 188

略歴 190

サンダース出馬表明演説 192

語彙解説 216

サンダース発言録 222

あとがき 231

参考文献 237

大統領選

のしくみ



アメリカ大統領選は、まず各党が予備選を行い候補者を一本化した後に、本選が行われます。

予備選は有権者が自分が支持する候補に投票してくれる代議員を選ぶ、本選は有権者が自分が支持する候補に投票してくれる選挙人を選ぶ、という形の直接選挙と間接選挙が混じった形でどちらも州ごとに行われます。

代議員1人=1ポイント、選挙人1人=1ポイントと、ポイント制と考えると分かりやすいでしょう。

予備選

各党が候補者を一本化するために行う選挙で、通例2月から6月初旬にかけて行われます。

今回の大統領選では、共和党は2016年5月3日にトランプが事実上の候補者になりましたが、民主党はヒラリーとサンダースが最後まで戦い続けました。

代議員数は党ごとに、また州ごとに異なります。

今回の予備選では、代議員数総数は、民主党4765人、共和党2472人で、それぞれ2383人以上、1237人以上を獲得した人が各党の候補になります。

民主党はどの州でも候補者の得票率に応じて代議員を振り分ける比例制をとっています。

共和党は比例制、勝者独り勝ち、選挙区ごとに勝者独り勝ち、など州によって異なるシステムを採用しています。

予備選の日取り、どんなシステムを採用するかは、各州が大統領選の前の年に決めます。

フロリダの共和党予備選は2012年までは比例分配制でした。

しかし、2015年の5月に共和党のフロリダ州本部は、元フロリダ州知事ジェブ・ブッシュか、現フロリダ州選出上院議員マルコ・ルビオの出馬に備えて、フロリダの予備選を勝者独り勝ちのフォーマットに変えました。

ジェブカルビオが99人のフロリダの代議員を総取りして、フロリダ出身者が大統領候補になるように、と企てていたわけです。

しかし、ジェブはフロリダ予備選前に脱落し、ルビオも支持率が低迷したままで、共和党内層部が忌み嫌っているトランプがフロリダで勝ってしまったのですから、大統領選は一筋縄ではいかない、ということですね。

予備選にはプライマリーとコーカス(党員集会)という形態があり、どちらのフォーマットにするかは各党の州本部が選びます。

プライマリーは普通の選挙なので、無記名投票をしたあとすぐに家に帰れます。コーカスは有権者の「集会」なので、会場に長いこととどまらなくてはならないため、よほど政治に関心がある人が学生など時間がある人しか参加できません。

スーパーデリゲート

民主党には、得票数によって振り分けられる(=有権者の意志を反映する)誓約代議員と、個人の意志で好きな候補を応援できるスーパーデリゲート(特別代議員)という2種類の代議員が存在します。

今回の予備選では、誓約代議員数は4051人、スーパーデ

リゲート数は714人です。

誓約代議員は、政治に深く関心のある人や候補者の支援者の中から選ばれます。

一方、スーパーデリゲートは、民主党の上下両院議員全員、元上下両院議員の一部、正副大統領、元正副大統領、民主党中央州知事、元民主党中央州知事の一部、民主党幹部などで構成され、オバマ、ビル・クリントンもスーパーデリゲートです。

彼らはそれぞれの州でどの候補が勝とうが、その結果に束縛されることなく自らの意志で好みの候補を支持でき、支持表明の時期も随意ずいで決めることができます。

さらに、支持表明した後に意見を翻ひるがえして別の候補を支持することや、棄権することも許されています。

スーパーデリゲートというコンセプトは、1972年の大統領選で民主党が大敗した後に誕生しました。

そもそも予備選で投票する人々は、共和党では非常に保守的な人が、民主党では非常にリベラルな人が多く、72年の民主党予備選では、社会主義的な政策を推した左派のマクガヴァン候補が勝利を収めました。

彼の左翼思想は民主党予備選ではウケても、本選では恐れられマクガヴァンはマサチューセッツ州とワシントン D.C. でしか勝つことができず、49州でニクソンに大敗しました。

76年の大統領選では、やはり超リベラルなカーターが民主党候補になり、本選で僅差で勝ったものの、80年の再選挙では共和党のレーガンに大敗しました。

そのため、民主党幹部たちは「予備選ウケする極左候補に歯止めを掛け、民主党の体制側の意向を反映して本選で勝てる中道派を選ぶため」に、スーパーデリゲートという制度を設けたのです。

つまり、スーパーデリゲート制度は、サンダースのような極左反体制派の進撃を阻むために設置されたのです。

本選

選挙人の総数は538人で各州とワシントン D.C. に割り当てられています。

ワシントン D.C. の選挙人数は3人で、州ごとの選挙人数は各州の連邦議会議員数(上院議員数+下院議員数)と同じです。

上院議員数は各州2人ですが、下院議員数は10年ごとに行われる国勢調査に基づき、州民の数に応じて各州に割り当てられます。

48州では最多票を獲得した候補にすべての選挙人の票が与えられ、これは winner-take-all system (勝者総取り/勝者独り勝ちシステム)と呼ばれています。

ネブラスカ州とメイン州では、それぞれの下院選挙区で勝った候補にその選挙区の1票(選挙人)が割り振られ、州全体の勝者に2票が与えられます。

そして、総選挙人の過半数である270人の選挙人(=選挙人ひとりひとりが投じる票)を獲得した候補者が勝者となります。

勝者独り勝ちシステムの欠点

仮に、アメリカが3州で、総人口100人、選挙人総数11人で、A州は投票者45人で選挙人5人、B州は投票者35人で選挙人4人、C州は投票者20人で選挙人2人という振り分けだとしましょう。

民主党候補者がA州で40票、B州で10票、C州で5票、共和党候補者がA州で5票、B州で25票、C州で15票獲得したとすると、民主党候補者の得票数は55票ですが、獲得選挙人数は5、共和党候補者は得票数が45票なのに獲得選挙人数は6で、得票数が少ない共和党候補が勝ってしまうことになります。

2000年の大統領選では、このねじれ現象が起きました。

州ごとの勝敗では、30州で勝ったブッシュがゴアに大差をつけたという印象を受けますが、得票数はゴアが5099万9897票(48.4%)、ブッシュは5045万6002票(47.9%)でゴ

アが勝ったのに、選挙人数はゴアが266、ブッシュが271という僅差でブッシュが勝ちました。

民主党 VS. 共和党

あなたは民主党、共和党、無党派のうち、どちらですか？

(2016年1月に発表されたギャラップ社の世論調査)

| | |
|-----|------------|
| 民主党 | 29% |
| 共和党 | 26% |
| 無党派 | 42% |

世代・人種別党派分布

あなたは民主党支持者、あるいはどちらかという民主党寄りですか、それとも共和党支持者、あるいはどちらかという共和党寄りですか？

(2015年4月30日に、ピュー研究所が発表した世論調査)

| 年齢層 | 民主 | 共和 |
|--------|------------|------------|
| 18～33才 | 51% | 35% |
| 34～49才 | 49% | 38% |
| 50～68才 | 47% | 41% |
| 69～86才 | 43% | 47% |

| 人種 | 民主 | 共和 |
|--------|------------|------------|
| 白人 | 40% | 49% |
| 黒人 | 80% | 11% |
| アジア系 | 65% | 23% |
| ユダヤ系 | 61% | 31% |
| ヒスパニック | 56% | 26% |

民主党と共和党の違い

民主党は、あらゆる過程で国民の面倒を見てくれる大きな政府を支持。

政府による経済へ介入、政府による福祉や教育の提供、政府による環境保護、増税による富の再分配、結果平等を目指す党です。

大企業や金持ちは敵と見なし、労働組合を支持しています。

銃規制、中絶権、オバマケアー拡大、無限の失業手当支給、黒人やヒスパニックや女性を優遇する政策、同性愛者の結婚やトランスジェンダーの権利、不法移民への恩赦を支持し、死刑や戦争に反対し、大学はリベラルな思想のみを教える場所であるべきだと信じています。

キリスト教を敬遠し、クリスチャンを小バカにしていますが、ユダヤ教以外の他の宗教、特にイスラム教には敬意を表しています。

支持層は、労働者、貧困層、黒人、ヒスパニック、大学生、都会の中産階級、法廷弁護士、教員組合など労働組合参加者、ビル・ゲイツやザッカーバーグなどIT業界の大物たち、ハリウッドのスターや監督など。

共和党は、国防、警察、司法など人民の安全と基本的人権を守るために必要最小限の物事のみを司る小さな政府を支持。

機会均等、減税、人々の自己責任を重視し、あらゆる面で政府の介入を最小限にとどめることを目指しています。

努力して成功した者が報酬を得るのは当たり前、と考えています。

銃所持権、不法移民取締を支持し、中絶、オバマケアに反対し、魚ではなく釣り竿を与えることによる、失業者や貧困層救済を支持しています。

支持層は、中小企業経営者、富裕層、勤労を重んじる福音主義キリスト教徒、農業・酪農従事者、非都会の中産階級などです。

南部や北部工業地帯の労働者階級には、労働組合支持、という点以外は共和党のイデオロギーに近い「ブルー・ドッグ」と呼ばれる民主党支持者がいます。

また、レーガン大統領に投票した中道派、保守派の民主党支持者は「レーガン・デモクラット」と呼ばれています。

この2つのグループは、今回の選挙でトランプを支持しています。

第1候補者

トランプ

Donald John Trump

トランプの出馬宣言は2015年6月16日にニューヨークの名所、トランプ・タワーで行われました。

元モデルの奥さん、メラニアと一緒にゴールドに輝くエスカレーターに乗って会場に降り立つという演出は、政治家の出馬宣言というより、映画スターの記者会見のようでした。

トランプは、長女のイヴァンカに紹介され、出馬演説を始めたのですが、イヴァンカが時々メモを読みながら立派な紹介スピーチをしたのに対し、トランプは思いつくままに好き勝手なことを言っている、という感じのスピーチでした。

コーヒーでも飲みながら友だちと話しているかのような口調のとりとめのないスピーチに、政治評論家はみな、呆れかえっていましたが、支持者たちは異口同音に「思った通りのことをズバズバ言って、政治家らしくなくて新鮮だ」と彼の出馬を大歓迎していました。

トランプ略歴

Donald John Trump



アメリカでは、「ニューヨークのビリオネアー」と聞くと、毎晩パーティで美女をはべらせシャンペーンとドラッグに浸ってる、というイメージを浮かべる人が多いですよ。それはニューヨーク＝ウォール・ストリート（株、合併吸収、ヘッジファンド、大銀行）というステレオタイプがあるからです。

でも、トランプは他人のカネを左右に動かして富を築いた人間ではなく、自らリスクを負ってホテルやマンション、ゴルフコースを建設し、その過程で何万人もの従業員、作業員を雇った雇用創出者です。

彼の成人した子供たちは全員口をそろえて「父は毎晩3～4時間しか眠らない workaholic（仕事中毒者）なんです」と言っていますが、彼の下で働いたことがある人々も、みな、自らも仕事好きで部下の勤労にも見合った報酬を惜しまないトランプのことを称賛しています。

トランプは、派手なイメージとは裏腹に、お酒もタバコもドラッグもやらないんですよ。

これはお兄さんがアルコール依存症で亡くなったからです。とはいえ、トランプは美女が大好きで、ハイスクール（ニューヨーク陸軍士官学校）時代からデートの相手は常に絶世の美女ばかりだった、と証言しています。

雇用を創出し3回も美女と結婚したトランプはまさに典型

的な alpha male（群れを支配するオス、リーダー）なので、トランプが特に男性の間で支持率が高いのもうなづけますよね。

| | |
|----------------|--|
| 1946年 6月14日 | ニューヨーク州ニューヨーク・クイーンズ区に生まれる。 |
| 1959年 | 素行不良のためニューヨーク陸軍士官学校に転入させられる。 |
| 1964年 | フォードム大学に入学し、2年間通う。 |
| 1966年 | 不動産学科があったペンシルベニア大学ウォートン・スクールに入学。 |
| 1968年 | 不動産開発業を営む父・フレッドの会社「エリザベス・トランプ・アンド・サン」に入社。 |
| 1969年 | 会社の経営権を与えられ、社名を「トランプ・オーガナイゼーション」に改める。 |
| 1977年 | 元オリンピック選手でファッションモデルのイヴァナ・トゼルニーチコヴァーと結婚。長男ドナルド・トランプJrが生まれる。 |
| 1980年 | 不動産ブームに乗りオフィスビル開発やホテル・カジノの経営などに乗り出す。 |
| 1981年 | 長女イヴァンカが生まれる。 |
| 1983年 | ニューヨーク5番街に「トランプタワー」を建設。 |
| 1984年 | 次男 エリック・トランプが生まれる。 |
| 1989年 | 航空会社「トランプ・シャトル」運行開始。 |
| 1992年 | イヴァナ・トランプと離婚。「トランプ・シャトル」をUSエアウェイズに経営譲渡。 |
| 1993年 | 女優、テレビ司会者のマラー・アン・メーブルと結婚。 |
| 1994年 | 次女のティファニーが生まれる。 |
| 1995年 | 「トランプ・エンターテイメント・リゾーツ」設立。 |
| 1999年 | マラー・アン・メーブルと離婚。 |
| 2004年 | 司会を務めるリアリティ番組『アブレンティス』放送開始。 |
| 2005年 | メラニア・クナウスと結婚。 |
| 2006年 | 三男パロンが生まれる。 |
| 2007年 | 『アブレンティス』放送終了。 |
| 2008年 | 『セレブリティ・アブレンティス』放送開始。 |
| 2009年 | 経営難により、トランプ・エンターテイメント・リゾーツ社が、2月17日に連邦破産法第11条の適用を申請。 |
| 2012年 | 『セレブリティ・アブレンティス』放送終了。 |
| 2015年 6月16日 | 2016年大統領選出馬を正式に表明。 |
| 2016年 5月3日 | インディアナ州予備選で勝利。共和党の大統領候補指名獲得に必要な代議員数の確保がほぼ確実となる。 |

Wow. Whoa. That is some group of people. Thousands.

So nice, thank you very much. That's really nice. Thank you. It's great to be at Trump Tower. It's great to be in a wonderful city, New York. And it's an honor to have everybody here. This is beyond anybody's expectations. There's been no crowd like this.

And, I can tell, some of the candidates, they went in. They didn't know the air-conditioner didn't work. They sweated like dogs.

They didn't know the room was too big, because they didn't have anybody there. How are they going to beat ISIS? I don't think it's gonna happen.

Our country is in serious trouble. We don't have victories anymore. We used to have victories, but we don't have them. When was the last time anybody saw us beating, let's say, China in a trade deal? They kill us. I beat China all the time. All the time.

AUDIENCE MEMBER: We want Trump. We want Trump.

When did we beat Japan at anything? They send their cars over by the millions, and what do we do? When was the last time you saw a Chevrolet in Tokyo? It doesn't exist, folks. They beat us all the time.

ウォー〜！ すごい観衆だね！ 何千人もいる。

いいねえ。どうもありがとう。本当に嬉しいなあ。ありがとう。すばらしい街、ニューヨークのトランプ・タワーにいるんだから、いい気分だ。みんな集まってくれて光栄ですよ。期待以上だ。こんなすばらしい観衆は前代未聞だ。

他の候補の中には、会場に入って、エアコンが壊れてるってこと知らないで、犬みたいに大汗かいている人もいたよねえ。

会場が大きすぎるってことを知らなかった候補もいて、観客がいなくてがらがらだった。そんな候補たちは、いったいどうやってイスラム国を負かすつもりなんだろうかねえ？ 負かせるわけがない。

我々の国は深刻な問題を抱えていて、もう勝利を味わっていない。以前はいくつもの勝利を体験してきたが、それは昔のこと。最後に勝利を味わったのはいったいつだったことか。例えば中国との取引協定。アメリカは中国に完敗してる。僕は常に中国を負かしてるよ。いつも負かしてる。

観衆の1人：今こそトランプを！ 今こそトランプを！

どんな分野でも日本を負かしたことがあるか？ 日本は何百万台ものクルマをアメリカに送り込んでるのに、我々は何もしてない。東京でシボレーを見たことなんてないだろう。存在しないんだから。我々は彼らに負けっぱなしだ。

When do we beat Mexico at the border? They're laughing at us, at our stupidity. And now they are beating us economically. They are not our friend, believe me. But they're killing us economically.

The U.S. has become a dumping ground for everybody else's problems.

Thank you. It's true, and these are the best and the finest. When Mexico sends its people, they're not sending their best. They're not sending you. They're not sending you. They're sending people that have lots of problems, and they're bringing those problems with us. They're bringing drugs. They're bringing crime. They're rapists. And some, I assume, are good people.

But I speak to border guards and they tell us what we're getting. And it only makes common sense. It only makes common sense. They're sending us not the right people.

It's coming from more than Mexico. It's coming from all over South and Latin America, and it's coming probably..., probably from the Middle East. But we don't know. Because we have no protection and we have no competence, we don't know what's happening. And it's got to stop and it's got to stop fast.

Islamic terrorism is eating up large portions of the Middle East. They've become rich. I'm in competition with them.

They just built a hotel in Syria. Can you believe this? They built a hotel. When I have to build a hotel, I pay interest. They don't have to pay interest, because they took the oil that, when we left Iraq, I said we should've taken.

いつになったら国境でメキシコを負かせるんだ？ メキシコはアメリカのこと、我々のバカさ加減を笑ってるよ。今じゃ経済でもアメリカを打ち負かしてる。彼らはアメリカの友だちじゃない。本当だ。経済面でアメリカを潰してる。

合衆国は他の国の問題のゴミ捨て場と化してしまった。

(拍手に対して) ありがとう。真実だよ。君たちは最高の人間だ。メキシコは最高の人材は送り込んでこない。彼らは君たちのような人間は送ってこないで、問題をたくさん抱えた人間たちを送ってきて、アメリカに問題を持ち込んで。ドラッグや犯罪を持ち込んでるんだ。彼らは強姦犯だよ。善良な人ももちろんいるけどね。

でも、国境警備員と話すと、どんな人間が来てるか分かる。常識で分かるだろう。常識だよ。彼らはいい人間は送ってこないんだ。

メキシコだけでなく南米、ラテン・アメリカ全土からやってくるんだ。たぶん、たぶん中東からも来てる。でも分からない。アメリカは国境を守ってないし、無能だから真相は分からない。これを阻止しなきゃならない。早く食い止めないといけない。

イスラム教のテロリストたちが中東の大部分を食い荒らしてる。彼らは金持ちになって、僕のライバルになってる。

彼らはずい最近、シリアにホテルを建てたんだよ。信じられないだろう？ ホテルを建てたなんて。僕がホテルを建てるときは利息を払わないといけない。でも彼らにその必要はない。原油を手に入れたからさ。アメリカがイラクから撤退したときに、僕は「原油を確保すべきだ」と言ってたのに。

So now ISIS has the oil, and what they don't have, Iran has. And in 19—and I will tell you this, and I said it very strongly, years ago, I said—and I love the military, and I want to have the strongest military that we've ever had, and we need it more now than ever. But I said, "Don't hit Iraq," because you're going to totally destabilize the Middle East. Iran is going to take over the Middle East, Iran and somebody else will get the oil, and it turned out that Iran is now taking over Iraq. Think of it. Iran is taking over Iraq, and they're taking it over big league.

We spent \$2 trillion in Iraq, \$2 trillion. We lost thousands of lives, thousands in Iraq. We have wounded soldiers, who I love, I love—they're great—all over the place, thousands and thousands of wounded soldiers.

And we have nothing. We can't even go there. We have nothing. And every time we give Iraq equipment, the first time a bullet goes off in the air, they leave it.

Last week, I read 2,300 Humvees—these are big vehicles—were left behind for the enemy. 2,000? You would say maybe two, maybe four? 2,300 sophisticated vehicles, they ran, and the enemy took them.

AUDIENCE MEMBER: We need Trump now.

You're right.

AUDIENCE MEMBER: We need Trump now.

Last quarter, it was just announced our gross domestic product—a sign of strength, right? But not for us. It was below zero. Whoever heard of this? It's never below zero.

今じゃイスラム国がその原油を手にして、彼らが取れなかったものはイランが取った。僕は、1900……言っておくけど、何年も前に僕は強調してた。軍隊は大事だ。今こそ特に史上最強の軍隊を持つべきだ。でも、僕は、中東を完全に不安定にするから「イラクを攻撃するな」と言ってた。「イランが中東を征して、イランか他の誰かが原油を手に入れるだろう」と言ってたんだ。実際、イランがイラクを征してる。考えてみてほしい。イランが大国を尻目にイラクを征してるんだから。

アメリカはイラクに2兆ドルもつぎ込んだ。2兆ドルだよ。イラクで何千人もの命を失って、負傷兵もいる。僕は負傷兵を尊敬してる。すばらしい人々だ。アメリカ中に何千人もの負傷兵がいる。

アメリカの利益はゼロだ。イラクに行くことさえできない。何も得なかったんだ。イラクに兵器をあげるたびに彼らは1発撃っただけで放棄してしまう。

先週読んだんだけど、2300台ものハンビーが——大きなクルマだ——置き去りにされて敵の手に渡った、ということだ。2000台だって？ 2台とか4台ならまだしも、2300台もの高機能車だ。彼らは逃げて、敵が手に入れたわけだ。

観衆の1人：今こそトランプが必要だ！

その通り。

観衆の1人：今こそトランプが必要だ！

この前の四半期に国内総生産が発表された。国力を示す数字だ。でも、アメリカにとってはそうじゃない。マイナスだったんだから。前代未聞だろう？ 今までマイナスだったことなんてなかったのに。

Our labor participation rate was the worst since 1978. But think of it, GDP below zero, horrible labor participation rate. And our real unemployment is anywhere from 18 to 20 percent. Don't believe the 5.6. Don't believe it.

That's right. A lot of people up there can't get jobs. They can't get jobs, because there are no jobs, because China has our jobs and Mexico has our jobs. They all have jobs.

But the real number, the real number is anywhere from 18 to 19 and maybe even 21 percent, and nobody talks about it, because it's a statistic that's full of nonsense.

AUDIENCE MEMBER: We want Trump now!

Our enemies are getting stronger and stronger by the way, and we as a country are getting weaker. Even our nuclear arsenal doesn't work.

It came out recently they have equipment that is 30 years old. They don't know if it worked. And I thought it was horrible when it was broadcast on television, because boy, does that send signals to Putin and all of the other people that look at us and they say, "That is a group of people, and that is a nation that truly has no clue. They don't know what they're doing. They don't know what they're doing."

AUDIENCE MEMBER: We need Trump now!

We have a disaster called the big lie: Obamacare. Obamacare. Yesterday, it came out that costs are going for people up 29, 39, 49, and even 55 percent, and deductibles are through the roof. You have to be hit by a tractor, literally, a tractor, to

就労率も1978年以来最低だ。でも、考えてみてほしい。国内総生産がマイナスで就労率も最悪。真の失業率は18から20%。5.6%という数字は信じちゃいけない。信じないように。

そうだよ。多くの人たちが仕事を見つけれずにいるんだ。仕事が見つからない。なぜって仕事がないからさ。中国やメキシコがアメリカ人の仕事を取ってしまったからだ。彼らが仕事を持ってるわけだ。

とにかく真の失業率は18から19%、21%かもしれないのに、誰も話題にしてない。全く無意味な統計だから。

観衆の1人：今こそトランプを！

それで僕たちの敵はどんどん強くなってののに、この国は弱くなっていて、核兵器さえ機能しなくなってる。

(核兵器の)設備が30年も前のものだということが最近明らかになって、ちゃんと機能するかどうかわからないんだ。そうテレビで報道されたとき怖いと思ったよ。プーチンや他の連中に回信を送るようなもので、彼らはアメリカを見てこう言うだろう。「彼らは、あの国は全く何も分かってない。彼らは自分たちが何をしてるのかわかってない。彼らは全然分かってない」

観衆の1人：今こそトランプを！

僕たちは大嘘という大災難を抱えてる。オバマケアのことだ。

きのうの報道によると、みんなのコストが29、39、49、さらには55%も上がって、控除金額はさらに上がるばかりだっていうんだ。マジでトラクターに轢かれない限り、(健康保険が)使えない。

use it, because the deductibles are so high, it's virtually useless. It's virtually useless. It is a disaster.

And remember the \$5 billion Web site? Five billion dollars we spent on a Web site, and to this day it doesn't work. A \$5 billion Web site. I have so many Web sites, I have them all over the place. I hire people, they do a Web site. It costs me \$3. Five billion dollars Web site.

AUDIENCE: We want Trump! We want Trump! We want Trump!
We want Trump!

Well, you need somebody, because politicians are all talk, no action. Nothing's gonna get done. They will not bring us—believe me—to the promised land. They will not.

As an example, I've been on the circuit making speeches, and I hear my fellow Republicans. And they're wonderful people. I like them. They all want me to support them. They don't know how to bring it about. They come up to my office. I'm meeting with three of them in the next week. And they don't know—“Are you running? Are you not running? Could we have your support? What do we do? How do we do it?”

I like them. And I hear their speeches. And they don't talk jobs and they don't talk China. When was the last time you heard China is killing us? They're devaluing their currency to a level that you wouldn't believe. It makes it impossible for our companies to compete, impossible. They're killing us. But you don't hear that from anybody else. You don't hear it from anybody else. And I watch the speeches.

AUDIENCE MEMBER: No more free trade!

控除金額があまりにも高すぎるから、事実上オバマケアは役に立たないわけだ。事実上役立たずなんだ。大災難だよ。

(オバマケア加入のための) 50億ドルのウェブサイト、覚えてるかい？ ウェブサイトに50億ドルもかけたのに、機能してない。50億ドルものウェブサイト。僕はいろんなところでウェブサイトをたくさん持つてる。人を雇って、ウェブサイトを作ってるんだけど、3ドルで済んでる。50億ドルのウェブサイトとはねえ。

観衆：今こそトランプを！ 今こそトランプを！ 今こそトランプを！ 今こそトランプを！

君たちには誰かが必要なんだけど、政治家はしゃべるだけで行動を取らないから何も起こらない。彼らは本当に、僕たちを約束の地には連れていってくれないよ。そんなことしてくれないさ。

例を挙げると、僕はスピーチをして回ってて共和党の仲間の言うことも聞いている。彼らはすばらしい人たちで、僕は彼らが好きだよ。みんな僕の支援を受けたがってるんだけど、どうしたらいいのかわからないんだ。彼らは僕のオフィスに来る。来週も3人に会うことになってる。彼らはどうしたらいいかわからなくて「出馬するんですか？ しないんですか？ あなたの支援を受けられますか？ 何をしたらいいんでしょうか？ どうしましょうか？」って言うんだ。

僕は彼らが好きだよ。彼らのスピーチも聴いてる。彼らは仕事の話もしないし中国の話もしない。中国にやっつけられてる、っていうスピーチ、聴いたことないだろう？ 中国は信じられないほど通貨価値を下げてるから、アメリカの会社が競争することが不可能になってるんだ。不可能なんだよ。僕たちは彼らに叩かれてるんだ。でも他の誰もこの話をしてない。他の誰からもこの話を聞かないんだ。僕はスピーチを見てるのに。

観衆の1人：自由貿易廃止！

Thank you. I watch the speeches of these people, and they say the sun will rise, the moon will set, all sorts of wonderful things will happen. And people are saying, “What’s going on? I just want a job. Just get me a job. I don’t need the rhetoric. I want a job.”

And that’s what’s happening. And it’s going to get worse, because remember, Obamacare really kicks in in ’16, 2016. Obama is going to be out playing golf. He might be on one of my courses. I would invite him, I actually would say. I have the best courses in the world, so I’d say, you what, if he wants to—I have one right next to the White House, right on the Potomac. If he’d like to play, that’s fine.

In fact, I’d love him to leave early and play, that would be a very good thing.

But Obamacare kicks in in 2016. Really big league. It is going to be amazingly destructive. Doctors are quitting. I have a friend who’s a doctor, and he said to me the other day, “Donald, I never saw anything like it. I have more accountants than I have nurses. It’s a disaster. My patients are beside themselves. They had a plan that was good. They have no plan now.”

We have to repeal Obamacare, and it can be, and..., and it can be replaced with something much better for everybody. Let it be for everybody. But much better and much less expensive for people and for the government. And we can do it.

AUDIENCE: Trump! Trump! Trump! Trump! Trump! Trump!

So I’ve watched the politicians. I’ve dealt with them all my life. If you can’t make a good deal with a politician, then there’s something wrong with you. You’re certainly not very good. And that’s what we have representing us. They will never make

ありがとう。僕は彼らのスピーチを見ていて、彼らは日が昇り月が沈み、素晴らしいことがたくさん起きる、と言うわけだ。で、みんなは「どうなってるんだ？僕はただ仕事が欲しいだけだ。とにかく仕事をくれ。うまい言葉なんか聞きたくない、仕事が欲しい」って言ってるんだ。

これが現状で、さらに悪化するよ。なぜかという、覚えてるだろう。オバマケアが実際に始まるのは16年、2016年だ。オバマはゴルフをしてるだろうね。僕のどっかのゴルフ・コースでやってるかもしれない。彼を招待してあげてもいい。実際にこう言ってもいい。僕は世界一のコースを持ってるから、彼が望むなら、ホワイトハウスのすぐ横、ポトマック川のほとりに1つ僕のコースがあるから、彼がプレイしたいなら、ちょうどいい。

実のところ、早く出かけてプレイして欲しいね。そうするのがいいだろう。

でも、オバマケアが2016年に始まり、大舞台に出ると、驚くほど破壊的なことになるだろうね。たくさんの方の医者が退職してる。医者の方だちがいるんだけど、この間、彼にこう言われた。「ドナルド、こんなこと今まで見たことがない。僕は看護師よりも会計士を多く雇ってる。最悪だ。僕の患者たちは逆上してる。彼らにはいい保険プランがあったのに、今は保険プランがないんだから」

オバマケアを廃止しなきゃならない。で、誰にとってもずっとベターなものに替えればいいんだ。みんなのためのものにしよう。でも、もっとベターでみんなにとっても政府にとっても、もっと安いものにしよう。ちゃんとできるさ。

観衆：トランプ！ トランプ！ トランプ！ トランプ！ トランプ！ トランプ！

とにかく僕は政治家たちを見てきたし、今までずっと彼らと交渉してきた。政治家とうまい取引ができない人間は、どこかおかしくて、優秀じゃない。ああいう連中が僕たちの代表なんだ。彼らがアメリカを再びグレートにすることなんて有り得ない。全然無理だ。彼ら

America great again. They don't even have a chance. They're controlled fully—they're controlled fully by the lobbyists, by the donors, and by the special interests, fully.

Yes, they control them. Hey, I have lobbyists. I have to tell you. I have lobbyists that can produce anything for me. They're great. But you know what? It won't happen. It won't happen. Because we have to stop doing things for some people, but for this country, it's destroying our country. We have to stop, and it has to stop now.

AUDIENCE MEMBER: It needs Trump!

Now, our country needs—our country needs a truly great leader, and we need a truly great leader now. We need a leader that wrote *The Art of the Deal*. We need a leader that can bring back our jobs, can bring back our manufacturing, can bring back our military, can take care of our vets. Our vets have been abandoned.

And we also need a cheerleader.

You know, when President Obama was elected, I said, “Well, the one thing, I think he'll do well. I think he'll be a great cheerleader for the country. I think he'd be a great spirit.”

He was vibrant. He was young. I really thought that he would be a great cheerleader.

AUDIENCE MEMBER: But not a leader.

He's not a leader. That's true. You're right about that.

But he wasn't a cheerleader. He's actually a negative force. He's been a negative force. He wasn't a cheerleader, he was the opposite.

は完全にコントロールされてる。彼らはロビイスト、献金者、特別利益団体に完全にコントロールされてるから。完全にね。

そうだよ。彼らが政治家をコントロールしてるんだ。僕にもロビイストがいる。言っとくけど。どんな結果でももたらしてくれるロビイストがいて、彼らはすばらしい。でも、僕がロビイストを使うことはないよ。この国のためじゃなくて、特定の人間のために何かをするってことはやめなきゃならない。そういうことはアメリカを破壊してるから。やめなきゃならない、今すぐやめるべきだ。

観衆の1人：それにはトランプが必要だ！

だから我々の国は、我々の国は真に偉大なリーダーが必要なんだ。僕たちは真に偉大なリーダーが今こそ必要なんだ。僕たちに必要なリーダーは『*The Art of the Deal* (交渉術)』を書いた人間だ。僕たちには、仕事や製造業を(海外から)取り戻して、軍隊を蘇生させ、退役軍人の面倒を見ることができると言えるリーダーが必要なんだ。アメリカの退役軍人たちは見捨てられてしまった。

僕たちにはチアリーダーが必要なんだ。

オバマ大統領が当選したとき、僕はこう言った。「彼がうまくやってくれるだろうことが1つある。彼はこの国のチアリーダーになってくれるだろう。元気を与えてくれるだろう」

彼は元気があって若かったから、僕は本当に彼はすばらしいチアリーダーになってくれるだろうと思ってた。

観衆の1人：でもリーダーじゃない。

彼はリーダーじゃない。それは本当だ。当たってるよ。

彼はチアリーダーでもなくて、実際にはネガティブな影響を与えた。チアリーダーどころかその逆だった。

We need somebody that can take the brand of the United States and make it great again. It's not great again. We need—we need somebody—we need somebody that literally will take this country and make it great again. We can do that.

And, I will tell you, I love my life. I have a wonderful family. They're saying, "Dad, you're going to do something that's going to be so tough."

You know, all of my life, I've heard that a truly successful person, a really, really successful person and even modestly successful cannot run for public office. Just can't happen. And yet that's the kind of mindset that you need to make this country great again.

So ladies and gentlemen... I am officially running for president of the United States, and we are going to make our country great again.

It can happen. Our country has tremendous potential. We have tremendous people.

We have people that aren't working. We have people that have no incentive to work. But they're going to have incentive to work, because the greatest social program is a job. And they'll be proud, and they'll love it, and they'll make much more than they would've ever made, and they'll be—they'll be doing so well, and we're going to be thriving as a country, thriving. It can happen.

I will be the greatest jobs president that God ever created. I tell you that.

I'll bring back our jobs from China, from Mexico, from Japan, from so many places. I'll bring back our jobs, and I'll bring back

僕たちには、合衆国というブランドを背負って再び偉大なもののできる誰かが必要なんだ。今は偉大な状態に戻れてないから。僕たちは、僕たちには、この国を本当に背負ってもう一度偉大にしてくれる誰かが必要なんだ。再び偉大にできるんだから。

で、言わせてもらうけど、僕は自分の人生を気に入ってる。僕にはすばらしい家族がいて、彼らにこう言われてる。「パパがやろうとしてることは、すごく難しい」って。

僕は今までの一生ずっと、真に成功を収めた人間、本当に成功を収めた人間や、適度に成功を収めた人間も公職に出馬するのは無理だと聞かされてきた。絶対無理だと。でも、この国を再び偉大にするには、そういう人物たちの考え方が必要なんだ。

だから、レイディース・アンド・ジェントルメン……僕は公式に合衆国大統領に立候補します。僕たちはこの国を再び偉大にするんだ。

きっとできるよ。僕たちの国にはものすごい可能性があり、アメリカにはすばらしい人々がいるんだから。

アメリカには仕事がない人もいれば、インセンティブがないから仕事をしない人もいるけど、彼らに仕事をするためのインセンティブをあげよう。就職こそが最高の社会保障プログラムだから。(仕事があれば)彼らは誇らしい気持ちになり、喜んで、(失業手当を)もらってより高額な給料を得て、すごくいい暮らしができるようになって、僕たちの国は繁栄するだろう。繁栄するのさ。絶対できる。

僕は神が創造した最高の雇用創出大統領になる。断言するよ。

僕たちの仕事を中国から、メキシコから、日本から、その他のたくさんの方の国から取り戻してやる。僕たちの仕事を取り戻して、僕たち

our money.

Right now, think of this. We owe China \$1.3 trillion. We owe Japan more than that. So they come in, they take our jobs, they take our money, and then they loan us back the money, and we pay them in interest, and then the dollar goes up so their deal's even better.

How stupid are our leaders? How stupid are these politicians to allow this to happen? How stupid are they?

I'm going to tell you—thank you. I'm going to tell you a couple of stories about trade, because I'm totally against the trade bill for a number of reasons.

Number one, the people negotiating don't have a clue. Our president doesn't have a clue. He's a bad negotiator. He's the one that did Bergdahl. We get Bergdahl, they get five killer terrorists that everybody wanted over there.

We get Bergdahl. We get a traitor. We get a no-good traitor, and they get the five people that they wanted for years, and those people are now back on the battlefield trying to kill us. That's the negotiator we have.

Take a look at the deal he's making with Iran. He makes that deal, Israel maybe won't exist very long. It's a disaster, and we have to protect Israel. But...

AUDIENCE: Yes, we do! Yes, we do!

So we need people—I'm a free trader. But the problem with free trade is you need really talented people to negotiate for you. If you don't have talented people, if you don't have great

のお金を取り戻してやる。

今のところ、考えてもごらんよ。僕たちは中国に1兆3000億ドルも借金してる。日本にはもっと多くの借金がある。彼らはやってきて、僕たちの仕事を奪って、僕たちのお金を奪って、その金を僕たちに貸し付けて、僕たちは彼らに利息を払ってる。それでドルが上がって、彼らの取引はさらに有利になってる。

僕たちのリーダーはなんてバカなんだ。こんなことが起きるのを許してるなんて政治家はなんてバカなんだ。なんてバカなんだろうか。

言っておくけど……（歓声に答えて）どうもありがとう。貿易に関してちょっと話をしておこう。僕はいろんな理由で通商法案に全面的に反対だから。

第1の理由は、交渉してる連中が何も分かってない。僕たちの大統領は全然分かってない。彼はひどい交渉人だ。彼はバーグダールの交渉をした男だよ。バーグダールを、あっちのみんな（テロリストたち）が欲しがってる5人の人殺しのテロリストと交換したんだ。

僕たちが得たものはバーグダールだ。裏切り者を得たわけだ。僕たちは無価値な裏切り者を得て、彼らは何年も前から欲しがってた5人を得て、この5人は戦場に戻ってアメリカ人を殺そうとしてる。これが僕たちの交渉人なんだよ。

彼（オバマ）がイランと結ぼうとしてる協定を見てごらんよ。あんな協定を結んだら、イスラエルはもう存在しなくなってしまう。大災難だね。僕たちはイスラエルを守らなきゃならないっていうのに。

観衆：その通り！ その通り！

だから僕たちに必要なのは……僕は自由貿易主義者だけど、自由貿易の問題は、君たちのために交渉してくれる真に有能な人間が必要だっていう点だ。優秀な人がいないと、偉大なリーダーシップがな

leadership, if you don't have people that know business, not just a political hack that got the job because he made a contribution to a campaign, which is the way all jobs, just about, are gotten, free trade is terrible.

Free trade can be wonderful if you have smart people, but we have people that are stupid. We have people that aren't smart. And we have people that are controlled by special interests. And it's just not going to work.

So, here's a couple of stories happened recently. A friend of mine is a great manufacturer. And, you know, China comes over and they dump all their stuff, and I buy it. I buy it, because, frankly, I have an obligation to buy it, because they devalue their currency so brilliantly, they just did it recently, and nobody thought they could do it again. But with all our problems with Russia, with all our problems with everything..., everything, they got away with it again. And it's impossible for our people here to compete.

So I want to tell you this story. A friend of mine who's a great manufacturer, calls me up a few weeks ago. He's very upset. I said, "What's your problem?" He said, "You know, I make great product." And I said, "I know. I know that because I buy the product."

He said, "I can't get it into China. They won't accept it. I sent a boat over and they actually sent it back. They talked about environmental, they talked about all sorts of crap that had nothing to do with it."

I said, "Oh, wait a minute, that's terrible. Does anyone know this?" He said, "Yeah, they do it all the time with other people." I said, "They send it back?" "Yeah. So I finally got it over there and they charged me a big tariff. They're not supposed to be doing that." I told him. "Now, they do charge you

いと、ビジネスを知ってる人がいないとダメだ。選挙キャンペーンに寄付したことで、交渉の仕事をもたらした三流政治家なんかじゃダメなのに、ほとんどの仕事はこういう形で与えられてるから、自由貿易はひどいってことなんだ。

利口な人間がいれば自由貿易はずばらしいものになるのに、バカな連中がやってるんだ。利口じゃない連中だよ。特別利益団体にコントロールされてる連中だ。これじゃうまく行くわけがない。

最近起きたことをちょっと話しておこう。僕の友人にすばらしい製造業者がいる。で、中国がやってきて、あらゆる物をダンピングして、僕は買いまくるわけだ。なぜって、正直言って、彼らはすごく巧みに通貨価値を切り下げてるから、僕は買わないわけにはいかない。彼らは最近また通貨価値を下げた。またそんなことをするのは誰も思っていなかったのに。でも、アメリカがロシアとの問題とか他のあらゆる問題を抱えてるんで、中国はまたやってのけられたんだ。で、アメリカにいる僕たちが競争することが不可能になってる。

だからこの話をしたいんだけど、すばらしい製造業の友人が数週間前に僕に電話をかけてきて、すごく動揺してるんだ。「何が問題なんだ？」って聞いたら、「僕が良質な製品を作ってるってこと、知ってるだろう」と言うから「知ってるよ。君の製品を買ってるから」と答えた。

すると彼はこう言うんだ。「中国で売れないんだよ。彼らは受け入れてくれない。船を向こうに送っても、実際に送り返されてしまった。彼らは環境関連とか、全然無関係のたわごとを言ってるんだ」

僕が「ちょっと待ってくれよ。そりゃひどい。誰かこの現状を知ってるのか？」って言ったら、彼は「知ってるよ。彼らは誰にでもいつも同じ事してるから」と言った。僕が「送り返してくるのか？」と言ったら、こう言われた。「そうなんだ。で、やっと中国に製品を入れたら、高い関税を掛けられた。そんなことしちゃいけないのに」僕は彼に言ったよ。「つまり、アメリカがトラックとかをあっち(中国)に送ると、トラックに関税を掛けてくるんだな」

tariff on trucks, when we send trucks and other things over there.”

Ask Boeing. They wanted Boeing’s secrets. They wanted their patents and all their secrets before they agreed to buy planes from Boeing.

Hey, I’m not saying they’re stupid. I like China. I sell apartments for—I just sold an apartment for \$15 million to somebody from China. Am I supposed to dislike them? I own a big chunk of the Bank of America Building and 1290 Avenue of the Americas, that I got from China in a war. Very valuable.

I love China. The biggest bank in the world is from China. You know where their United States headquarters is located? In this building, in Trump Tower. I love China. People say, “Oh, you don’t like China?” No, I love them. But their leaders are much smarter than our leaders, and we can’t sustain ourselves with that. There’s too much, it’s like, it’s like take the New England Patriots and Tom Brady and have them play your high school football team. That’s the difference between China’s leaders and our leaders.

They are ripping us. We are rebuilding China. We’re rebuilding many countries. China, you go there now, roads, bridges, schools, you never saw anything like it. They have bridges that make the George Washington Bridge look like small potatoes. And they’re all over the place.

We have all the cards, but we don’t know how to use them. We don’t even know that we have the cards, because our leaders don’t understand the game. We could turn off that spigot by charging them tax until they behave properly.

ボーイングに聞いてみるといい。彼らはボーイングの（企業）秘密を知りたがった。ボーイングから飛行機を買う前に、ボーイングの特許の中身や秘密を全部知りたがってた。

僕は彼らがバカだって言ってるんじゃない。僕は中国が好きだ。僕は彼らにマンションを売ってる。中国人に1500万ドルのマンションを売ったばかりだ。彼らを嫌う理由があるかい？僕はバンク・オブ・アメリカのビルとアベニュー・オブ・ジ・アメリカズ1290番地のビルのかなりの部分を所有してる。中国と戦って勝ち得たものだ。すごく高価なものだよ。

僕は中国が大好きだよ。世界最大の銀行は中国のものだ。彼らの合衆国本店がどこにあるか知ってるかい？このビル、トランプ・タワーの中にあるんだ。僕は中国が大好きだ。「中国が嫌いなんですか？」とみんなに聞かれるけど、嫌いじゃない。僕は中国人が大好きだよ。彼らのリーダーは僕たちのリーダーよりも遥かに利口なんだ。この現状じゃ僕たちはやっていけない。あまりの重荷だ。まるでニュー・イングランド・パトリオッツとトム・ブレイディを連れてきて、ハイスクールのフットボール・チームと対戦させるようなものだ。それが中国のリーダーと僕たちのリーダーの差だよ。

彼らは僕たちをズタズタに引き裂いてる。僕たちは中国を再建してるのに。僕たちはたくさんを国を再建してる。中国。今行くと、道路、橋、学校、見たこともない光景だよ。中国にはジョージ・ワシントン橋がつまらない物に見えてしまうような橋があるんだ。そこら中に。

僕たちは有利な立場に立ってるのに、手札をどう使ったらいいのかわからないでいる。手札を持てることさえ知らない。リーダーがゲームを理解してないからだ。彼らがきちんと振る舞うまで、税金を掛けて栓を閉める（中国製品の流入を止める）こともできるのに。

Now they're going militarily. They're building a military island in the middle of the South China sea. A military island. Now, our country could never do that because we'd have to get environmental clearance, and the environmentalist wouldn't let our country—we would never build in an ocean. They built it in about one year, this massive military port.

They're building up their military to a point that is very scary. You have a problem with ISIS. You have a bigger problem with China.

And, in my opinion, the new China, believe it or not, in terms of trade, is Mexico.

So this man tells me about the manufacturing. I say, "That's a terrible story. I hate to hear it."

But I have another one, Ford.

So Mexico takes a company, a car company that was going to build in Tennessee, rips it out. Everybody thought the deal was dead. Reported it in the *Wall Street Journal* recently. Everybody thought it was a done deal. It's going in and that's going to be it, going into Tennessee. Great state, great people.

All of a sudden, at the last moment, this big car manufacturer, foreign, announces they're not going to Tennessee. They're gonna spend their \$1 billion in Mexico instead. Not good.

Now, Ford announces a few weeks ago that Ford is going to build a \$2.5 billion car and truck and parts manufacturing plant in Mexico. Two and a half billion dollars, it's going to be one of the largest in the world. Ford. Good company.

So I announced that I'm running for president. I would ... one of the early things I would do, probably before I even got

今じゃ彼らは軍事的になって、南シナ海の真ん中に軍事的の島を建造してる。軍事的の島だ。アメリカはそんなことは絶対できない。環境面での認可が必要で、環境保護者たちが許すわけがないから、僕たちは海に何も建造できはしない。彼らは約1年でこの巨大な軍用の港を建造した。

彼らは軍隊を恐ろしいほどまで増強してる。イスラム国も問題だけど、中国のほうが大きな問題だ。

で、僕の意見では、信じられないかもしれないけど、貿易という点ではメキシコが中国のお株を奪ってる。

とにかく、彼が製造業に関して話してくれて、僕は「そりゃひどい話だ。聞くに堪えない」って言うわけだ。

でも、他の例もある。フォードだよ。

メキシコはテネシーに（工場を）造るはずだったクルマの会社を奪って、台無しにしてる。みんな契約解消だって思ったね。この間ウォール・ストリート・ジャーナルが報道してた。みんな契約が成立したと思ってたのに。テネシーに行って、それで成立だと思ってた。すばらしい州、すばらしい人々がいる。

突然、最後の瞬間に、この外国の自動車製造会社（フォルクスワーゲンのこと）は、テネシーには行かない、と発表するわけさ。その代わりに、彼らはメキシコに10億ドルつぎ込むんだよ。まずいよね。

で、フォードも数週間前に25億ドルの自動車、トラック、部品の製造工場をメキシコに建造する、と発表した。25億ドルだよ。世界で最も大きな工場になるだろう。フォード、いい会社だ。

だから僕は大統領に立候補すると宣言した。僕が最初にするものの1つは、（ホワイトハウスに）入る前にやるかも……世界一頭のいい

in—and I wouldn't even use, you know, I have—I know the smartest negotiators in the world. I know the good ones. I know the bad ones. I know the overrated ones. You get a lot of them that are overrated. They're not good. They think they are. They get good stories, because the newspapers get buffaloed. But they're not good. But I know the negotiators in the world, and I put them one for each country. Believe me, folks. We will do very, very well, very, very well.

But I wouldn't even waste my time with this one. I would call up the head of Ford, who I know. If I was president, I'd say, "Congratulations. I understand that you're building a nice \$2.5 billion car factory in Mexico and that you're going to take your cars and sell them to the United States zero tax, just flow them across the border."

And you say to yourself, "How does that help us," right? "How does that help us? Where is that good?" It's not.

So I would say, "Congratulations. That's the good news. Let me give you the bad news. Every car and every truck and every part manufactured in this plant that comes across the border, we're going to charge you a 35-percent tax, and that tax is going to be paid simultaneously with the transaction," and that's it.

Now, here's what is going to happen. If it's not me in the position, it's one of these politicians that we're running against, you know. And here's what's going to happen. They're not so stupid. They know it's not a good thing, and they may even be upset by it. But then they're going to get a call from the donors or probably from the lobbyist for Ford and say, "You can't do that to Ford, because Ford takes care of me and I take care of you, and you can't do that to Ford."

交渉人を何人も知ってるけど、彼らのことは使わないだろうね。うまい交渉人、ダメなヤツ、過大評価されてる連中、みんな知ってる。過大評価されてる交渉人がたくさんいる。彼らはうまくない。自分でうまいと思ってるだけ。新聞社が騙されてるから、いい記事載せてもらってるだけ。僕は世界中の交渉人を知ってて、各国に1人置いてる。みんな、信じてほしい。僕たちはすごくうまくやれるよ。

でも、これに関しては時間を無駄にするつもりはない。僕はフォードの社長に電話するよ。知り合いだから。僕が大統領だったら、こう言うさ。「おめでとう。25億ドルのけっこうな自動車会社をメキシコに造るんだってね。君の会社のクルマを国境を越えて流し込んで税金ゼロで合衆国で売るつもりなんだろう」

君たちは自問してるだろう。「僕たちの助けになるのか」って。「どうして僕たちの助けになる？ いいことなのか？」いいわけない。

だから僕はこう言うだろう。「おめでとう。それはグッド・ニュースだ。でも、君にバッド・ニュースを伝えさせてほしい。その工場で作られて国境を越えてくる全てのクルマ、トラック、部品に35%の税金をかけて、その税金は通商取引によって同時に支払われることになる」そういうことさ。

その座（大統領の座）にいるのが僕じゃなくて、僕に対抗して出馬してる政治家の誰かだったら、どうなるかって、こうなるんだ。彼らはバカじゃない。まずいことだと分かってるし、そのせいで動揺するかもしれない。でも献金者や、もしかしたらフォードのロビイストから電話がかかってきて、彼らにこう言われる。「フォードにそんなことしちゃいけない。フォードは私の面倒を見てくれるし、私はあなたの面倒を見てるから、フォードにそんなことしちゃダメだ」

And guess what? No problem. They're going to build in Mexico. They're going to take away thousands of jobs. It's very bad for us.

So under President Trump, here's what would happen:

The head of Ford will call me back, I would say within an hour after I told them the bad news. But it could be he'd want to be cool, and he'll wait until the next day. You know, they want to be a little cool.

And he'll say, "Please, please, please." He'll beg for a little while, and I'll say, "No interest." Then he'll call all sorts of political people, and I'll say, "Sorry, fellas. No interest," because I don't need anybody's money. It's nice. I don't need anybody's money.

I'm using my own money. I'm not using the lobbyists. I'm not using donors. I don't care. I'm really rich. And by the way, I'm not even saying that in a ... that's the kind of mindset, that's the kind of thinking you need for this country.

AUDIENCE MEMBER: Absolutely!

So, because we got to make the country rich. It sounds crass. Somebody said, "Oh, that's crass." It's not crass.

We got \$18 trillion in debt. We got nothing but problems.

We got a military that needs equipment all over the place. We got nuclear weapons that are obsolete. We've got nothing. We've got Social Security that's going to be destroyed if somebody like me doesn't bring money into the country. All these other people want to cut the hell out of it. I'm not going

で、どうなると思う？ 問題ない。彼らはメキシコに（工場を）建てることになって、何千もの仕事を奪い去るのさ。僕たちにとって本当にひどいことだ。

トランプ大統領の下では、こうなる。

僕がバッド・ニュースを伝えた後、きっと1時間以内にフォードの社長が僕に電話をかけ直してくる。彼はクールに振る舞いたがって、かけ直すのは次の日まで待つかもしれない。みんなクールに振る舞いたいから。

で、彼はこう言うだろう。「お願いですよ。頼みます」彼はしばらくの間、懇願して、僕はこう言う。「関心ないね」で、彼はあらゆる政界の人間に電話するだろうけど、僕はこう言うんだ。「あんたには悪いけど、僕は関心ない」なぜって、僕は誰のカネも要らないからさ。いいことだよ。誰のカネも要らない。

僕は自分のカネを使ってる。ロビイストや献金者のカネは使わない。どうでもいいことさ。僕はすごくリッチだから。ところで、僕がこう言ってるのは……この国に必要なのはこういう思考様式、こういう考え方だ。

観衆の1人：まさにその通り！

とにかく、この国をリッチにしなきゃならないんだ。俗っぽく聞こえるかな。誰かが「俗っぽい」と言ってた。俗っぽくなんかないよ。

僕たちは18兆ドルの借金をかかえてる。問題ばかりかかえてるんだ。

軍隊はどこでも装備を必要とする。僕たちの核兵器は時代遅れだ。僕たちは何も持っていないんだ。僕みたいな人間がこの国にお金を入れてあげないと、社会保障制度は破綻してしまう。他の連中はみんなそれ（社会保障制度）を徹底的にカットしたがつってる。僕は全然カットしないよ。僕はおカネをそれにつぎ込んで、僕たちは社会

to cut it at all; I'm going to bring money in, and we're going to save it.

But here's what's going to happen:

After I'm called by 30 friends of mine who contributed to different campaigns, after I'm called by all of the special interests and by the ... the donors and by the lobbyists—and they have zero chance at convincing me, zero—I'll get a call the next day from the head of Ford. He'll say, "Please reconsider," I'll say no.

He'll say, "Mr. President, we've decided to move the plant back to the United States, and we're not going to build it in Mexico." That's it. They have no choice. They have no choice.

There are hundreds of things like that. I'll give you another example.

Saudi Arabia, they make \$1 billion a day. One billion dollars a day. I love the Saudis. Many are in this building. They make a billion dollars a day. Whenever they have problems, we send over the ships. We say, "we're gonna protect." What are we doing? They've got nothing but money.

If the right person asked them, they'd pay a fortune. They wouldn't be there except for us.

And believe me, you look at the border with Yemen. You remember Obama a year ago, Yemen was a great victory. Two weeks later, the place was blown up. Everybody got out—and they kept our equipment.

They always keep our equipment. We ought to send used equipment, right? They always keep our equipment. We ought

保障制度を救うんだ。

でも、こうなるわけさ。

いろんな選挙運動に献金した30人の僕の友だちから電話がかかってきた後、全ての特別利益団体や献金者やロビイストから電話がきた後も、彼らが僕を納得させられるチャンスはゼロで、次の日フォードの社長から電話がきて、彼は「どうか考え直してください」と言い、僕はノー、と言う。

彼はこう言うんだ。「ミスター・プレジデント、工場を合衆国に戻して、メキシコには建てないことに決めました」ってね。そうさ。彼らには選択の余地はない。選択の余地なしだ。

こういうことが何百件もあるんだ。もう1つ例を挙げよう。

サウジアラビアは1日に10億ドルも儲けてる。1日10億ドルだ。僕はサウジアラビア人が大好きだよ。このビルにもたくさんいる。彼らは1日に10億ドルも儲けてるのに、問題が起きる度に僕たちは船(戦艦)を派遣して「買ってあげる」と言ってるんだ。僕たちはいったい何をしてるんだろう。彼らはカネだらけだっていうのに。

適切な人間が彼らに求めれば、大金を払ってくれるだろう。僕たちがいなかったら彼らは存在できないんだから。

本当の話、イエメンとの国境を見てごらんよ。1年前のオバマ(の一言を)、覚えてるだろう。イエメンは大きな勝利だった(とオバマは言っていた)。2週間後、爆破されて、みんな撤退して、彼らが僕たちの装備を手にした。

彼らはいつも僕たちの装備を手にしてしまうんだ。中古の装備を送るべきだ。そうだろう？ 彼らはいつも僕たちの装備を手にしちゃ

to send some real junk, because, frankly, it would be—we ought to send our surplus. We're always losing this gorgeous brand-new stuff.

But look at that border with Saudi Arabia. Do you really think that these people are interested in Yemen? Saudi Arabia without us is gone. They're gone.

And I'm the one that made all of the right predictions about Iraq. You know, all of these politicians that I'm running against now—it's so nice to say I'm running as opposed to if I run, if I run. I'm running.

But all of these politicians that I'm running against now, they're trying to disassociate. I mean, you looked at Bush, it took him five days to answer the question on Iraq. He couldn't answer the question. He didn't know. I said, "Is he intelligent?"

Then I looked at Rubio. He was unable to answer the question, is Iraq a good thing or bad thing? He didn't know. He couldn't answer the question.

How are these people gonna lead us? How are we gonna—how are we gonna go back and make it great again? We can't. They don't have a clue. They can't lead us. They can't. They can't even answer simple questions. It was terrible.

But Saudi Arabia is in big, big trouble. Now, thanks to fracking and other things, the oil is all over the place. And I used to say it, there are ships at sea, and this was during the worst crisis, that were loaded up with oil, and the cartel kept the price up, because, again, they were smarter than our leaders. They were smarter than our leaders.

うんだから、ひどいガラクタを送るべきだ。正直言って、余剰品を送るべきだ。僕たちはいつもすばらしい真新しいヤツを失ってる。

でもサウジアラビアとの国境を見てごらん。彼らが本当にイエメンに関心があると思うかい？ アメリカ無しではサウジアラビアは存在できない。消えてしまう。

僕はイラクに関して正確な予言ばかりをした人間だ。今、僕が立候補して対抗してる政治家はみんな……「もし立候補したら」と言うのとは対照的に「立候補して」と言えるのって、すごくいいねえ。もし立候補したら、じゃなくて、僕は立候補してるんだから。

僕が立候補して対抗してる政治家たちはみんな、(自分たちの過去と) 距離を置こうとしてる。つまり、(ジェブ・) ブッシュのことを見ただろう。彼は5日かかってやっとイラクに関する質問に答えた。彼はその質問に答えられなかった。分からなかったのさ。僕は「彼、知性があるのかねえ？」って思ったね。

で、(マルコ・) ルビオを見てみると、彼もその質問に答えられなかった。イラク(戦争)はいいことだったのか、悪いことだったのか。彼は分からなくて、その質問に答えられなかった。

そんな連中がどうやって僕たちを率いることができるんだ？ 僕たちはどうやって(栄光の時代に)戻って、アメリカを再び偉大にできるんだ？ できないさ。彼らは全然分かってないから。彼らは僕たちをリードできない。無理だ。簡単な質問にさえ答えられない。(彼らの記者会見は)ひどいものだった。

でも、サウジアラビアはものすごく困ったことになってる。水圧破碎とかその他のいろんなことのおかげで、至る所で石油が採れる。僕はよく言ってたんだよ。最悪の危機の最中にね。石油を満載した船が海に出ていて、カルテルが高値を維持してた。これまた彼らが僕たちのリーダーよりも利口だからだ。彼らは僕たちのリーダーよりも利口なんだ。

There is so much wealth out there that can make our country so rich again, and therefore make it great again. Because we need money. We're dying. We're dying. We need money. We have to do it. And we need the right people.

So Ford will come back. They'll all come back. And I will say this, this is going to be an election, in my opinion, that's based on competence.

Somebody said to me the other day, a reporter, a very nice reporter, "But, Mr. Trump, you're not a nice person."

AUDIENCE MEMBER: We don't need nice.

That's true. But actually I am. I think I am a nice person. People that know me, like me. Does my family like me? I think so, right. Look at my family. I'm proud of my family.

By the way, speaking of my family, Melania, Barron, Kai, Donnie, Don, Vanessa, Tiffany, Ivanka did a great job. Did she do a great job? Great. Jared, Laura and Eric, I'm very proud of my family. They're a great family.

So the reporter said to me the other day, "But, Mr. Trump, you're not a nice person. How can you get people to vote for you?"

I said, "I don't know." I said, "I think that number one, I am a nice person. I give a lot of money away to charities and other things. I think I'm actually a very nice person."

But, I said, "This is going to be an election that's based on competence, because people are tired of these nice people." And they're tired of being ripped off by everybody in the

僕たちの国を再びリッチにしてくれる富がたくさんあるから、アメリカを再び偉大にできる。僕たちにはカネが必要なんだ。僕たちは死にかけてる。死にかけてるのさ。僕たちにはカネが要るんだ。(水圧破砕を)やらなきゃならない。(そのために)適切な人事が必要だ。

で、フォードが帰ってくる。みんな帰ってくる。言わせてもらうと、これは、僕の意見だけど、能力に基づいた選挙になる。

この間、誰かが僕に言った。とてもいいリポーターが言ったんだ。「でも、ミスター・トランプ、あなたはいい人ではないでしょう」

観衆の1人：いい人は要らない。

それは本当だ。でも、実際には僕はいい人だと思うけど。僕のことを知ってる人は僕のが好きなんだよ。僕の家族は僕を好きかな？好きだと思うよ。家族を見てほしい。僕は家族を誇りに思ってる。

家族と言えば、紹介しておこう。メラニア、パロン、カイ、ドニー、ドン、ヴァネッサ、ティファニー、イヴァンカはいい仕事をした。そうだろう？すばらしい。ジャレッド、ローラ、そしてエリックだ。僕は家族をととても誇りに思ってる。すばらしいファミリーだ。

とにかくリポーターがこの間、僕にこう言った。「でも、ミスター・トランプ、あなたはいい人ではないでしょう。どうやって人々に投票してもらうんですか？」

僕は、「どうかなあ」と答えた。「第1に、僕はいい人だと思う。僕はチャリティとかいろんなことに大金を寄付してる。実は僕はすごくいい人だと思う」

でも、こう言ったんだ。「これは能力に基づいた選挙になるだろう。人々はいい人にウンザリしてるから」世界中のみんなから食べ物にさされることにウンザリしてる。世界のどの国よりも1人当たりの教

world. And they're tired of spending more money on education than any nation in the world per capita, than any nation in the world, and we are 26th in the world, 25 countries are better than us in education. And some of them are like third world countries. But we're becoming a third world country, because of our infrastructure, our airports, our roads, everything. So one of the things I did, and I said, "You know what I'll do. I'll do it." Because a lot of people said, "He'll never run. Number one, he won't want to give up his lifestyle." They're right about that, but I'm doing it.

Number two, I'm a private company, so nobody knows what I'm worth. And the one thing is that when you run, you have to announce and certify to all sorts of governmental authorities your net worth. So I said, "That's OK." I'm proud of my net worth. I've done an amazing job.

I started off—thank you—I started off in a small office with my father in Brooklyn and Queens, and my father said—and I love my father. I learned so much. He was a great negotiator. I learned so much just sitting at his feet playing with blocks listening to him negotiate with subcontractors. But I learned a lot.

But he used to say, "Donald, don't go into Manhattan. That's the big leagues. We don't know anything about that. Don't do it."

I said, "I gotta go into Manhattan. I gotta build those big buildings. I gotta do it, Dad. I've gotta do it."

And after four or five years in Brooklyn, I ventured into Manhattan and did a lot of great deals—the Grand Hyatt Hotel. I was responsible for the convention center on the west side.

育に多くのお金をかけて、世界で(教育レベルのランクが)26位だってことにウンザリしてる。教育で僕たちよりもベターな国が25ヶ国もあって、そのうちのいくつかは第三世界みたいな国だ。でもインフラストラクチャー、空港、道路、全ての面で、僕たちは第三世界の国になりつつある。だから、僕がやったことの1つに……で僕は言ったんだ。「僕が何をするか教えてやろう。僕はやる(出馬する)よ」たくさんの人が「彼は絶対出馬しないよ。第1に、彼のライフスタイルをあきらめたくないだろうから」と言ってた。それは当たってるけど、僕は立候補したんだ。

第2に、僕は私企業だから、誰も僕にどれだけ財産があるか知らない。1つ言えることは、出馬すると、様々な政府の機関に純資産を発表して証明しなきゃならない。それで、僕は「いいよ」って言ったんだ。僕は自分の純資産を誇りに思ってる。僕は驚くべき仕事を成し遂げたんだから。

僕は、(観衆に応じて)ありがとう、僕はブルックリンとクイーンズにある小さなオフィスで父親と仕事を始めた。僕の父親、僕は彼のことが大好きだ。たくさん学んだよ。彼はすばらしい交渉人だった。彼の足下に座りブロックで遊びながら、彼が下請け業者と交渉するのを聞いているだけで、僕はすごく多くを学んだよ。たくさん学んだ。

でも彼はよくこう言ってた。「ドナルド、マンハッタンには進出するな。あそこは厳しい世界だ。僕たちはあそこは何も知らないから、行くな」ってね。

僕はこう言った。「マンハッタンに進出して、ああいう大きなビルを建てる。やらなきゃならない。父さん、僕はやらなきゃならない」

それで、ブルックリンで4~5年やった後、僕はマンハッタンに進出して、たくさんすばらしい取引をした。グランドハイアット・ホテルとかね。ウェスト・サイドのコンベンション・センターも僕が手がけた。僕はたくさんすばらしい取引をしたんだ。初期、まだ若

I did a lot of great deals, and I did them early and young. And now I'm building all over the world, and I love what I'm doing.

But they all said, a lot of the pundits on television, "Well, Donald will never run, and one of the main reasons is he's private and he's probably not as successful as everybody thinks."

So I said to myself, you know, nobody's ever going to know unless I run, because I'm really proud of my success. I really am.

I've employed—I've employed tens of thousands of people over my lifetime. That means medical. That means education. That means everything.

So a large accounting firm and my accountants have been working for months, because it's big and complex, and they've put together a statement, a financial statement, just a summary. But everything will be filed eventually with the government, and we don't need extensions or anything. We'll be filing it right on time. We don't need anything.

And it was even reported incorrectly yesterday, because they said, "He had assets of \$9 billion." So I said, "No, that's the wrong number. That's the wrong number. Not assets."

So they put together this. And before I say it, I have to say this. I made it the old-fashioned way. It's real estate. You know, it's real estate.

It's labor, and it's unions good and some bad and lots of people that aren't in unions, and it's all over the place and building all over the world.

And I have assets—big accounting firm, one of the most highly

いときにね。で、今は世界中にビルを建てていて、自分がやることが好きでたまらない。

でも、みんな、テレビの評論家の多くはこう言った。「ドナルドは絶対出馬しないでしょう。主な理由の1つは、彼は民間人で、たぶんみんなが思っているほど成功を取ってはいないでしょうから」

だから、僕は自分に言ったんだ。出馬しない限り誰にも知ってもらえないだろうって。僕は自分の成功を本当に誇りに思う。本当だよ。

僕は今までの人生で何万人もの人を雇ってきた。医療、教育、あらゆる面で。

で、大きな会計事務所と僕の会計士たちが何ヶ月も仕事をして、なぜって巨大で複雑だから、彼らは資産報告書をまとめ上げた。要約だけだけどね。でも、最終的には政府に全て提出される。延期とかは必要ない。時間通りに提出するよ。(延期とかは)何も必要ない。

きのうは間違っって報道された。「90億ドルの資産がある」と言っていた。だから僕は言ったよ。「そりゃ数字が違う。間違っった数字だ。資産じゃない」って。

彼らはまとめ上げたんだ。発表する前に言っておくけど、僕は昔ながらのやり方で成功した。不動産だよ。知ってるだろう。不動産だ。

骨の折れる労働、労働組合が絡んでる。いい組合もあれば、悪いのもあって、組合に入っていない人もたくさんいる。(不動産が)いろんなところであって、世界中でビルを建ててる。

僕には資産がある。大きな会計事務所、最高に尊敬されてる事務所

respected—9 billion 240 million dollars.

And I have liabilities of about \$500 million. That's long-term debt, very low interest rates.

In fact, one of the big banks came to me and said, "Donald, you don't have enough borrowings. Could we loan you \$4 billion?" I said, "I don't need it. I don't want it. And I've been there. I don't want it."

But in two seconds, they give me whatever I wanted. So I have a total net worth, and now with the increase, it'll be well-over \$10 billion. But here, a total net worth of—net worth, not assets, not—a net worth, after all debt, after all expenses, the greatest assets—Trump Tower, 1290 Avenue of the Americas, Bank of America building in San Francisco, 40 Wall Street, sometimes referred to as the Trump building—many other places all over the world.

So the total is \$8,737,540,000.

Now I'm not doing that ... I'm not doing that to brag, because you know what? I don't have to brag. I don't have to, believe it or not.

I'm doing that to say that that's the kind of thinking our country needs. We need that thinking. We have the opposite thinking.

We have losers. We have losers. We have people that don't have it. We have people that are morally corrupt. We have people that are selling this country down the drain.

So I put together this statement, and the only reason I'm telling you about it today is because we really do have to get going, because if we have another three or four years—you know, we're at \$8 trillion now. We're soon going to be at \$20 trillion.

の1つによると、92億4000万ドル。

負債が500万ドル。長期債務だ。すごい低金利の。

実際、大きな銀行の1つが僕のところに来て、こう言ったんだ。「Donald、あなたはあまり借金がないから、40億ドルのローンをさせてもらえませんか？」僕は、「要らないよ。欲しくない。ローンはやったことあるけど、欲しくない」って言った。

でも、彼らは2秒で僕の望み通りのものをくれた。だから僕の全純資産は、今は増えて、100億ドル以上になるだろう。でも、全純資産は……資産じゃなくて……純資産は、借金と経費を引いた後だ。最大の資産は……アベニュー・オブ・ジ・アメリカズ1290番地のトランプ・タワー、サンフランシスコのバンク・オブ・アメリカのビル、40ウォール・ストリートのビル、トランプ・ビルディングと呼ばれることもある建物が、世界中にたくさんある。

で、総額は87億3754万ドルだ。

僕は自慢したくて公表してるわけじゃないよ。なぜって、自慢する必要なんてないからさ。信じてくれようがくれまいが、そんな必要はない。

これがこの国が必要とする考え方で、ということを知らせるために公表してるんだ。僕たちには金儲けをすることは悪くないという考え方が必要なんだよ。今のアメリカは逆の考え方をしてる。

敗者ばかりだ。負け犬ばかりいるんだ。こういう考え方を持たない人、道徳的に腐敗してる人、アメリカを売り払ってどぶに流してる連中がいる。

だから僕は報告書をまとめた。今日、この話をしてる唯一の理由は、本当に取りかからなきゃならないからだ。あとさらに3～4年したら……知ってるだろう、今の負債は18兆ドルだけどすぐに20兆ドルになってしまうよ。

According to the economists—who I'm not big believers in, but, nevertheless, this is what they're saying—that \$24 trillion, we're very close—that's the point of no return. \$24 trillion. We will be there soon. That's when we become Greece. That's when we become a country that's unsalvageable. And we're gonna be there very soon. We're gonna be there very soon.

AUDIENCE MEMBER: Make America strong!

So, just to sum up, I would do various things very quickly. I would repeal and replace the big lie, Obamacare. I would build a great wall, and nobody builds walls better than me, believe me, and I'll build them very inexpensively, I will build a great, great wall on our southern border. And I will have Mexico pay for that wall.

AUDIENCE MEMBER: Yes!

Mark my words. Nobody would be tougher on ISIS than Donald Trump. Nobody.

I will find—within our military, I will find the General Patton or I will find General MacArthur, I will find the right guy. I will find the guy that's going to take that military and make it really work. Nobody, nobody will be pushing us around.

I will stop Iran from getting nuclear weapons. And we won't be using a man like Secretary Kerry that has absolutely no concept of negotiation, who's making a horrible and laughable deal, who's just being tapped along as they make weapons right now, and then goes into a bicycle race at 72 years old, and falls and breaks his leg. I won't be doing that. And I promise I will never be in a bicycle race. That I can tell you.

経済学者によると、僕は彼らのことはあまり信じちゃいないけど、それでも彼らはこう言ってる。24兆ドル、もうすぐだよ。それが帰還不能の数値だ。24兆ドル。すぐに達してしまうだろう。そこまで行ったら僕たちはギリシャになってしまう。救済不能の国になってしまう。もうすぐそこに行ってしまうだろう。もうすぐそういう状態になってしまうだろう。

観衆の1人：アメリカを強くしよう！

だから、まとめると、僕は急いでいろんなことをするよ。大嘘のオバマケアを廃止して別の物に替えて、すばらしい壁を築く。誰も僕よりうまく壁を築くことはできない。信じてくれ。すごく安価で築くよ。ものすごくすばらしい壁を南部の国境に建造する。で、その壁（の建造費）をメキシコに払わせる。

観衆の1人：そうだ！

僕の言うことをしっかり聞いてくれ。イスラム国に対してドナルド・トランプより厳しい態度を取れる人は1人もいない。1人も！

僕は我々の軍隊の中から、バットン将軍やマッカーサー将軍のような適材を見つける。軍隊をしっかり機能させてくれる人材を見つけるよ。誰も僕たちのことをこづき回さないようになるだろう。

僕はイランが核兵器を持つことを阻止する。ケリー国務長官のような男は使わない。彼には交渉という概念が全くなくて、ひどくバカバカしい協定を結んで、彼らが兵器を製造してる間にもカネをせびられて、72歳で自転車レースに出て倒れて脚を折ってる。僕はそんなことはしない。約束するよ。絶対に自転車レースになんか出ない。それは言える。

I will immediately terminate President Obama's illegal executive order on immigration, immediately.

Fully support and back up the Second Amendment.

Now, it's very interesting. Today I heard it. Through stupidity, in a very, very hard core prison, interestingly named Clinton, two vicious murderers, two vicious people escaped, and nobody knows where they are. And a woman was on television this morning, and she said, "You know, Mr. Trump," and she was telling other people, and I actually called her, and she said, "You know, Mr. Trump, I always was against guns. I didn't want guns. And now since this happened"—it's up in the prison area—"my husband and I are finally in agreement, because he wanted the guns. We now have a gun on every table. We're ready to start shooting."

I said, "Very interesting." So protect the Second Amendment.

End—end Common Core. Common Core should—it is a disaster. Bush is totally in favor of Common Core. I don't see how he can possibly get the nomination. He's weak on immigration. He's in favor of Common Core. How the hell can you vote for this guy? You just can't do it. We have to end—education has to be local.

Rebuild the country's infrastructure.

Nobody can do that like me. Believe me. It will be done on time, on budget, way below cost, way below what anyone ever thought.

I look at the roads being built all over the country, and I say I can build those things for one-third. What they do is

僕はオバマ大統領の移民に関する不法な大統領令を即座に打ち切る。即座に。

憲法補正第2条（銃所持権）を全面的に支持し、擁護する。

すごくおもしろいことがあってね。今日聞いたんだ。愚かさのせいで、ものすごく頑強な刑務所から、おもしろいことにクリントンという名前の刑務所なんだけど、凶悪な殺人犯が2人、2人の凶悪な人間が逃げ出して、彼らがどこにいるか誰も知らないんだ。で、今朝、テレビに女性が出ていて、彼女はこう言ってた。「ミスター・トランプ」って、彼女は他の人に言ってたんだけど、僕は彼女に電話したら、こう言われたんだ。「ミスター・トランプ、私はずっと銃に反対してました。銃なんか欲しくないと思ってたんですけど、これ（脱獄）が起きて以来」——刑務所の近くなんだよ——「夫と私は遂に同意したんですよ。彼は銃を欲しがってたんです。今じゃ私たちがどのテーブルにも銃を置いてます。いつでも撃てる状態です」

「非常に興味深い」と僕は言ったよ。だから憲法補正第2条を守る。

コモン・コア（全米共通学力基準）を終わらせる。コモン・コアは、大惨事だ。（ジェブ・）ブッシュはコモン・コアを完全に支持してる。彼が（共和党候補として）指名されるわけがない。彼は移民（政策）に関しても弱い。彼はコモン・コアを支持してるんだ。そんな男に投票できるわけがないだろう。そんなことしちゃいけない。終わらせなきゃならない。教育は地域ごとじゃなきゃならない。

アメリカのインフラストラクチャーを再建する。

誰も僕には敵わない。本当だ。スケジュール通りに予算内で、原価より安く、誰が思ったよりも安く仕上げるよ。

僕はアメリカ中で造られてる道路を見て、僕はこう言ってるんだ。「僕なら3分の1の費用で造れる」ってね。彼らは信じられないこと

unbelievable, how bad.

You know, we're building on Pennsylvania Avenue, the Old Post Office, we're converting it into one of the world's great hotels. It's gonna be the best hotel in Washington, D.C. We got it from the General Services Administration in Washington. The Obama administration. We got it. It was the most highly sought after—or one of them, but I think the most highly sought after project in the history of General Services. We got it. People were shocked, Trump got it.

Well, I got it for two reasons. Number one, we're really good. Number two, we had a really good plan. And I'll add in the third, we had a great financial statement. Because the General Services, who are terrific people, by the way, and talented people, they wanted to do a great job. And they wanted to make sure it got built.

So we have to rebuild our infrastructure, our bridges, our roadways, our airports. You come into La Guardia Airport, it's like we're in a third world country. You look at the patches and the 40-year-old floor. They throw down asphalt, and they throw.

You look at these airports, we are like a third world country. And I come in from China and I come in from Qatar and I come in from different places, and they have the most incredible airports in the world. You come to back to this country and you have LAX, disaster. You have all of these disastrous airports. We have to rebuild our infrastructure.

Save Medicare, Medicaid and Social Security without cuts. Have to do it.

をやってる。なんてひどいことだろう。

知ってるだろうけど、僕たちはペンシルバニア・アベニューにビルを建ててる。旧郵便局を世界最高のホテルの一つに改造する。ワシントンD.C.で最高のホテルになるだろう。この物件をワシントンの一般調達局から引き取った。オバマ政権から入手したんだ。誰もが欲しがってたもの、ものの1つだ。一般調達局史上、最も強く要望されていたもので、それを僕が手に入れたわけだ。みんなショックを受けてた。トランプが手に入れた、ってね。

入手できた理由は2つ。1つは、僕たちはすごく優秀だから。2つめは、すごくいいプランを立ててたからだ。3つめも付け足すと、財務諸表がしっかりしてたからだ。一般調達局、すばらしい人々だ、有能な人々だ、彼らはいい仕事をしたいと思ってた。確実に完成させたいと思ってたんだ。

僕たちはインフラストラクチャー、橋、道路、空港を再建しなきゃならない。ラガーディア空港に到着すると、アメリカは第三世界の国かっていう感じだ。40年も経ったフロアーはつぎだらけで、アスファルトを注いでる。

こういう空港を見ると、僕たちはまるで第三世界の国だ。僕は中国とかカタールとか他の場所からやってきて、彼らの国々には世界で最もすばらしい空港があって、この国に帰ってくるとロサンゼルス国際空港、大惨事だよ。悲惨な空港だらけ。インフラストラクチャーを再建しなきゃならない。

メディケアー（高齢医療保険制度）、メディケイド（低所得者医療扶助制度）、社会保障制度を（予算）カットなしに救う。救わなきゃならない。

Get rid of the fraud. Get rid of the waste and abuse, but save it. People have been paying it for years. And now many of these candidates want to cut it. You save it by making the United States, by making us rich again, by taking back all of the money that's being lost.

Renegotiate our foreign trade deals.

Reduce our \$18 trillion in debt, because, believe me, we're in a bubble. We have artificially low interest rates. We have a stock market that, frankly, has been good to me, but I still hate to see what's happening. We have a stock market that is so bloated.

Be careful of a bubble because what you've seen in the past might be small potatoes compared to what happens. So be very, very careful.

And strengthen our military and take care of our vets. So, so important.

Sadly, the American dream is dead.

AUDIENCE MEMBER: Bring it back!

But if I get elected president I will bring it back bigger and better and stronger than ever before, and we will make America great again!

Thank you! Thank you very much!

詐欺を一掃。無駄と不正使用を一掃して、救う。みんな何年も払い込んできたんだから。候補者の多くはカットしたがってるけど、合衆国を、僕たちを再びリッチにすることで、失われたお金を取り戻すことで救うんだ。

外国との貿易取引を再交渉する。

18兆ドルの負債を減らす。僕たちはバブルの中にいるんだから。本当だよ。人為的に低金利率にしているんだ。株価は、正直言って僕は得してきたけど、それでも現状は見るに堪えない。株価は肥大化してる。

バブルに注意しないとイケない。今起きてることと比べたら過去の例は取るに足らないかもしれない。しっかり注意してほしい。

アメリカの軍隊を強化して、退役軍人の面倒を見る。すごく大切なことだ。

悲しいことに、アメリカン・ドリームは死んでしまった。

観衆の1人：生き返らせろ！

でも、僕が大統領に当選したら生き返らせて、今までのアメリカン・ドリームよりも大きく、ペターで力強いものにして、僕たちはアメリカを再びグレイトにするんだ！

ありがとう！ どうもありがとう！

語彙解説



P. 22

beyond one's expectations : 期待以上

candidate : 候補者

ISIS=Islamist State of Iraq and al-Sham : (アイシス) イスラム国

P. 24

dumping ground : ゴミ捨て場

P. 26

destabilize : 不安定にする、動揺させる

trillion : 兆

wounded soldiers : 傷ついた兵士たち、負傷兵

equipment : ある目的に必要な設備や備品(ここでは「兵器」のこと)

gross domestic product : 国内総生産

P. 28

labor participation rate : 就労率

unemployment : 失業

nuclear arsenal : 核兵器

have no clue : 全く分からない

disaster : 大きな災難

deductible : 控除金額

through the roof : 非常に高くなる

P. 30

promised land : 約束の地、あこがれの状態

when was the last time you heard ~ : ~と最後に聞いたのはいつのことか=~と聞いたことがないだろう

currency : 通貨

P. 32

destructive : 破壊的

beside oneself : 我を忘れて、逆上して

repeal : 廃止する

P. 34

The Art of the Deal : トランプが1987年に書いたビジネスの交渉に関する本。ニューヨーク・タイムズのベストセラー・リストで51週間にわたってNo. 1となり、その後もロングセラーになっていたが、出馬表明後、再びトップセラーになっている。

bring back : 取り戻す、生き返らせる プリンク・バック(海外に行ってしまった製造業などの仕事を取り戻し、弱体化した軍隊を蘇生させ、アメリカの栄光を取り戻すし、元気のないアメリカを生き返らせる)という一言はトランプのテーマとなっている。

vet, veteran : 退役軍人

force : 勢力、影響力を持つ人

P. 36

modestly : 適度に、謙虚に

mindset : 考え方、思考様式

tremendous : 巨大な、すさまじい

than they would've ever made : 彼らが(失業手当により)得たであろうよりも

thrive : 繁栄する

P.38

Bergdahl: ボウ・バーグダールは、アフガニスタンの米軍キャンプから脱走してタリバンの捕虜になった米兵。オバマ政権は、グワンタナモ湾の収容所に収容されていた5人の最も凶悪なテロリストとバーグダールを交換して、彼を救った。

P.40

brilliantly: 巧みに

upset: 狼狽した、動揺した

crap: ナンセンス、たわごと、ばかげたこと (元々は「クソ」という意味)

tariff: 関税

P.42

chunk: かなりの部分

rip: 引き裂く

small potatoes: つまらないもの、はした金

have all the cards: 有利な立場にいる (カード・ゲームで全てのカードを持っている、という意味)

spigot: 栓

P.44

massive: 大規模な、がっしりした

in terms of ~: ~に関して

P.46

overrate: 過大評価する

buffalo: 騙す、混乱させる

simultaneously: 同時に

P.48

beg: 懇願する

absolutely: 完全に、まさにその通り

crass: 俗っぽい、物質主義的な

obsolete: 廃れた、時代遅れの

P.50

convince: 納得させる

reconsider: 考え直す

fortune: 大金

P.52

junk: がらくた、クズ

prediction: 予言、予測

as opposed to ~: ~とは対照的に

disassociate: 遠ざかる、分離する、関係を絶つ

fracking: 水圧破砕

be loaded with: を積み込まれた

P.54

be ripped of: だまし取られる、食い物にされる

P.56

certify: 証明する

net worth: 純資産

subcontractor: 下請け業者

venture into: 進出する、挑む

P.58

pundit: 評論家

accounting firm: 会計事務所

accountant: 会計士

financial statement: 資産報告書、財務諸表

incorrectly: 間違って

assets：資産

make it：成功する

old-fashioned way：昔からのやり方で、古いやり方で

real estate：不動産

labor：骨の折れる労働

P.60

liabilities：負債

borrowing：借金

expenses：経費

referred to as：と呼ばれる、と称される

brag：自慢する

corrupt：腐敗した、買収された

P.62

unsalvageable：救済不能

sum up：まとめる

inexpensively：安い費用で

mark my words：しっかり耳を傾けてくれ、よく聞いてくれ

laughable：笑える、滑稽な、ばかばかしい

P.64

immediately：即座に、直ちに

the Second Amendment：憲法補正第2条（銃所持権）

vicious：卑劣な、凶暴な

in agreement：同意して、合意して

Common Core：コモン・コア（連邦政府による教育政策。難度のレベルを下げた教え方やテストのための勉強法が親に不評）

on budget：予算内で、予算通りの額で

P.66

General Services Administration：一般調達局（連邦財産や官公庁ビ

ルなどを管理する機関）

patch：つぎあて用の布

disastrous：悲惨な

Medicare：メディケア（連邦政府運営の高齢者向け医療保険制度）

Medicaid：メディケイド（例所得者向け医療費補助制度。連邦政府と州が負担し州が運営）

P.68

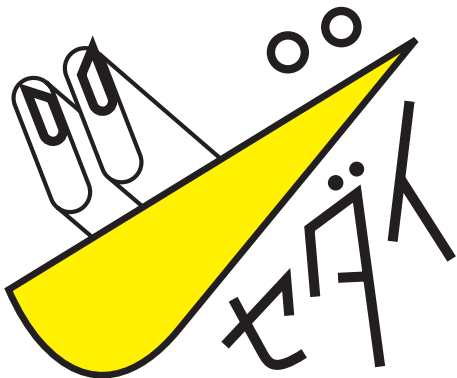
get rid of：取り除く、一掃する

trade deal：貿易取引、取引協定

artificially：人工的に、人為的に

stock market：株式市場、株価

君は、



何と闘うか？

<http://ji-sedai.jp/>

「ジセダイ」は、20代以下の若者に向けた、**行動機会提案サイト**です。読む→考える→行動する。このサイクルを、困難な時代にあっても前向きに自分の人生を切り開いていこうとする次世代の人間に向けて提供し続けます。

メインコンテンツ

ジセダイイベント

著者に会える、同世代と話せるイベントを毎月開催中！ 行動機会提案サイトの真骨頂です！

ジセダイ総研

若手専門家による、事実に基いた、論点の明確な読み物を。「議論の始点」を供給するシンクタンク設立！

星海社新書試し読み

既刊・新刊を含む、すべての星海社新書が試し読み可能！

マーカー部分をクリックして、「ジセダイ」をチェック!!!

行動せよ!!!